

日本プロテオーム学会 2014 年会 (JHUPO 第 12 回大会)

理事会 議事録

日 時：2014 年 7 月 17 日 (木) 11:50~13:40

会 場：つくば国際会議場 会議室 202 (〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2 丁目 20-3)

URL： <http://www.epochal.or.jp> Tel: 029-861-0001

出席者：山本会長、朝長副会長、石濱庶務担当理事、赤間監事、大石監事、荒木、木下、小寺、
近藤、榊原、戸田、成松、野村、服部、平野、山田、横田 (17 名)

欠席者：磯邊、加藤、小林、坂口、高尾、高橋、中村、中山、三ツ井、和田 (10 名)

(敬称略)

山本会長あいさつの後、以下の報告があった。

- 1) 会員数について、石濱庶務担当より、7 月 1 日現在 911 名 (昨年 733 名) であるとの報告があった。HUPO 横浜大会による活動の活発化とつくば大会の事前登録制強化によるものと考えられる。
- 2) 山本会長より、HUPO マドリッド大会への参加の呼びかけがあった。また、HPP 関連会議がマドリッド大会の直後セゴビアで開催予定。関連の先生方への参加呼びかけがあった。AOHUPO2014 について、タイで予定通り行われることが朝長副会長より報告があった。
- 3) 平野理事より JHUPO 第 11 回大会報告があり、HUPO 横浜大会との同時開催で、JHUPO 大会のみの参加者は数人とどまった旨の報告があった。
- 4) 開催中の JHUPO 第 12 回大会について成松理事より報告があった。ウェブシステムを学会として使いまわしができるようにしては、という提案があり、今後検討していくことになった。
- 5) JHUPO 第 13 回大会準備状況が荒木理事よりあり、次回大会は 2015.7.23-24 にくまもと森都心プラザで行われる予定である旨の報告があった。
- 6) プロテオミクス辞典の会員への配布について、450 冊程度学会で保有しているので、つくば大会参加者 (個人会員・学生会員) に無償配布する予定である旨報告があった。平野理事のところにも 40 部あり。大学図書館への寄贈という提案もあった。
- 7) 日本プロテオーム学会賞及び奨励賞受賞者について、学会賞、奨励賞、研究開発功績賞および本年度より新設の功労賞の各受賞者について朝長副会長 (選考委員長) より報告があった。
- 8) KHUPO との交換講演について、朝長副会長より、以下の条件の確認があった。
講演者は派遣元学会が推薦する。派遣先学会の負担は参加費のみ (講演者への謝金あり) 。
JHUPO 側が受け入れる場合は、講演者への謝金の代わりに、航空券、ホテル代を直接負担。(税金の問題。年会ではなく学会が負担) 。

今回の近藤理事の招待は例外的に KHUPO 側の依頼で行われたことを確認した。また、JHUPO つくば大会への招待は例年通りの条件で、Byoung Chul Park 博士 (Korea Res. Inst. of Biosci.

& Biotechnol.) を招聘した。

- 9) JHUPO – FFPE Initiative については、西村先生にも確認し、中止となったことが山本会長より報告された。つくば大会では cHPP・イニシアティブコーナーにて Chr3、X 等のポスターを発表予定。Chr3 が cHPP で Japan/JHUPO 担当のようになっているので、JHUPO として山本会長が cHPP に正式に問い合わせることになった。
- 10) 功労賞の設置について山本会長から報告があった。
- 11) 会員ウェブページの現状について石濱庶務担当から報告があった。会員検索（名前、所属先）、会費納付状況等を検索できるようになっており、引き続き整備を行うとのことであった。
- 12) 2013 年度主催・後援・協賛実績について山本会長より報告があった。

引き続き、以下の項目について審議を行った。

- 1) 平成 25 年度収支決算報告・ 2) 平成 26 年度事業案及び予算案について審議した。25 年度収入の年会費が少なかったことについて質問があり、大会参加者からの年会費分が辞典として学会に納付されたとの説明があった。また予算案のウェブ運営維持管理費にはウェブシステムの開発も含まれているのか、委託先は決まっているのかという質問があった。本年度から事務委託をやめたため、その事務作業を自動化するためにさらにシステム開発が必要で、その分を計上している旨の回答があった。また委託先は未定であるが、現在の委託先であるデザインリンクスを中心に検討する旨の回答があった（石濱庶務担当）。
- 3) 2016 年会及び 2017 年会
審議の結果、2016 年会は北里大学の服部理事、2017 年会は医薬基盤研の朝長副会長がお世話されることとなった。同時に、お一人だけで大会運営を行うことができる先生がだんだん少なくなっていく現状や、大会間での引き継ぎをもう少し積極的に行うことを考え、複数の先生方でまとまって集団として大会運営を行う方針が了承された。
- 4) JHUPO データベースセンター・jPOST について、荒木理事より、JST から調査費をもらっている現状および今後の方針について説明があった。成松理事からただのリポトリではなく日本独自の役に立つ DB を提案する必要があるというご意見をいただき、引き続き関係者で協力しながら、今年の JST グラントに再チャレンジするという事になった。
- 5) 事務局業務、会員管理、会員ウェブについて、石濱庶務担当より、事務委託をやめたので庶務担当委員の業務量が急激に増えている現状の説明があり、これを 3 分割（庶務、会計、会員管理（ウェブ））したいという提案があった。これについては今期ではなく、来期以降に申し送るということで承認された。さらに、他の理事会業務についても、3 役だけではなく、できるだけ多くの理事に役割を振り分けることが提案され、これについても来期以降に申し送るということで承認された。
- 6) HUPO 理事及び AOHUPO 理事候補者の推薦について、山本会長より、新しい推薦規程について説明があった。審議の中で、理事の役割（会員に対してどういう活動をしているか、JHUPO から理事を出すことにどういうメリットがあるのか）をもっと明確にして、そのうえで任期（1 期 or 2 期）を話し合ったらよいという意見もあった。また、1 期であっても HUPO 理事としての役割は十分果たせるので、任期は

1 期としてできるだけ多くの方に理事を経験してもらった方がよいのでは、という意見もでた。ただ、JHUPO から推薦しても選挙で勝たなければいけないので、認知度の高い人を一定割合で送りこむという観点では、2 期を認めてもよいのではという意見もでた。HUPO 会員のなかで JHUPO 会員が占める割合は 10%以上であり、理事を送りだしてしっかり JHUPO の存在感を示すことも重要であるが、それによってうける JHUPO のメリットがなにか、というところは現状不明確だという意見もあった。以上の意見を踏まえて審議の結果、HUPO 理事、AOHUPO 理事推薦規程は承認された。なお、AOHUPO 理事における JHUPO 枠は 1 であることが確認された。

7) JHUPO サテライトシンポジウムについて、JHUPO のサポート分は学会事務局が直接会計処理をすることが提案され、審議の結果、本提案を含む規程案が承認された。榊原理事および荒木理事が申請中のサテライト案件についても改めて承認された。

8) 学会誌の発行について、短報・速報・総説を中心とした電子ジャーナル「Proteome Letters」の発行に関する規程案について朝長副会長から説明があった。審議の結果、規程案が承認された。

9) 各種プロテオミクス関連学術誌への貢献について、平野理事よりプロテオミクス関連雑誌は 3 4 種あり、学会として編集に積極的に関わられるように推薦できる仕組みを考えてみませんか、という提案があった。むしろ第一線を引かれた先生こそ、引き受けてくださるような方向もあるのではという意見も出た。学術誌より依頼があった場合、会員（もしくは理事）の中から候補者を募ることを考えていくということで了承された。

10) 名誉会員規約の提案が山本会長よりあり、審議の結果、承認された。

11) HUPO 会長から HUPO2013 組織委員長 4 名あてに来た手紙について、過去 4 回の大会で寄付された 10 万ドル程度のお金が今回寄付されなかったことについてのクレーム対応をどうしたらよいか審議した。MOU には元々このようなことは明記されていなかったこと、日本学術会議からのサポートを受けている以上、この額の返金は不可能であること等の意見が出た。要求されている JHUPO からの 6,000 ドルの納付をどうするかも含めて最終的な結論は出なかったため、今後も適宜メール会議等で対応を決めていくこととなった。

12) そのほか、理事・常務理事の任期の明確化、規約制定の明記、理事選挙の電子投票対応など規程の変更提案があった。これについては各自持ち帰り、メール会議で議論することになった。→

8/20 メール会議にて承認された。

以上
(文責 石濱)

(添付参考資料)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 理事会資料 | 5. DB ワークショップ・jPOST 資料 |
| 2. 規約変更案 | 6. プロテオーム系雑誌一覧 |
| 3. つくば大会現状での収支決算見積 | 7. HUPO 会長からの手紙 |
| 4. 2015 年会パンフ | |